

平成19年度 事務事業評価表		担当	消防本部 消防署			内線等	99-1003
事務事業名	音楽隊活動事業				事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等					Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	市民を対象に
手 段	各種イベント及び式典で消防音楽隊の広報活動を行うことによって
想定する成果	消防に対する認識を高め防火思想の普及など消防防災行政の推進を図るもの。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
音楽隊員数	25人	26人	26人
消防等イベント数	3回	5回	
音楽隊参加数	3回	5回	
参観者、協力者	4,000人	5,500人	

成果指標

成果指標名	広報活動事業の市民の参加割合
成果指標の説明	参観者、協力者 ÷ 人口(81,500人) × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		4.9%				6.9%							
成果指標													
事業費	事業費	235				62				0			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	1,013				843				785			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	1,013				843				785			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	1	-	2	-	職員の人員、技術に限界がある。
経済効率性	2	-	3	-	単年度に成果を期待できない。
事務効率性	2	-	2	-	隊員が勤務員、非番員の数の差で効率に差が出来る。
必要性	3	-	2	-	音楽の演奏を通じて市民と消防との融和をはかり、消防活動の広報にあたるため必要である。
小計	8	0	9	0	
施策への貢献度	2	-	1	-	おおよそ成果を表すことが出来ている。
合計	10	0	10	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	-	B	-	消防の式典及び各種イベントを開催することで火災予防の啓発を行い市民に親しまれる消防行政を目指しているが、まだ改善の必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
音楽隊の積極的な活用やPR方式の仕方、各種イベントによる市民参加の増を図る。
上記改善点の実施状況
音楽隊の積極的な活用を行っている。

今後さらに改善すべき点

個々に練習を重ね技術の向上を図る。

平成21年度予算に反映する項目

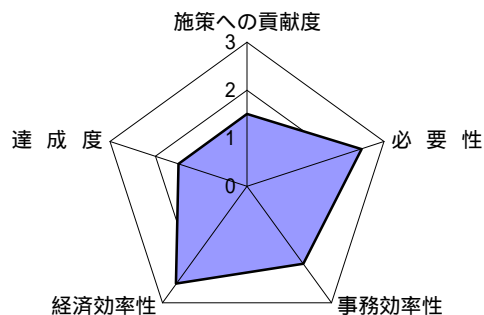
楽器の更新、及び新曲楽譜の購入

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点